

自社情報公開による 共同輸送相手探索マッチングサービス



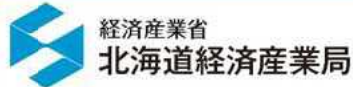
「帰り荷はどこにある？」
「誰が持っている？」
「混載相手はいないか？」

を探すサービス



北海道経済産業局委託事業 「共同輸配送デジタルマッチング事業」

令和7年度共同輸配送デジタルマッチングを開始します
～ 物流の見える化による連携促進に関心をもつ事業者を募集します ～



共同輸配送デジタルマッチング 参加事業者募集

経済産業省北海道経済産業局は、事業者の輸送情報を活用して物流効率化に繋げる「共同輸配送デジタルマッチング事業」を開始し、本事業に登録する事業者を広く募集します。本事業は、「**2025年度日本ロジスティクス大賞**（（公財）日本ロジスティクスシステム協会実施）」を受賞した**共同輸配送データベース「traevo noWa」**を活用した実証事業で、登録は無料です。是非お申し込み下さい。

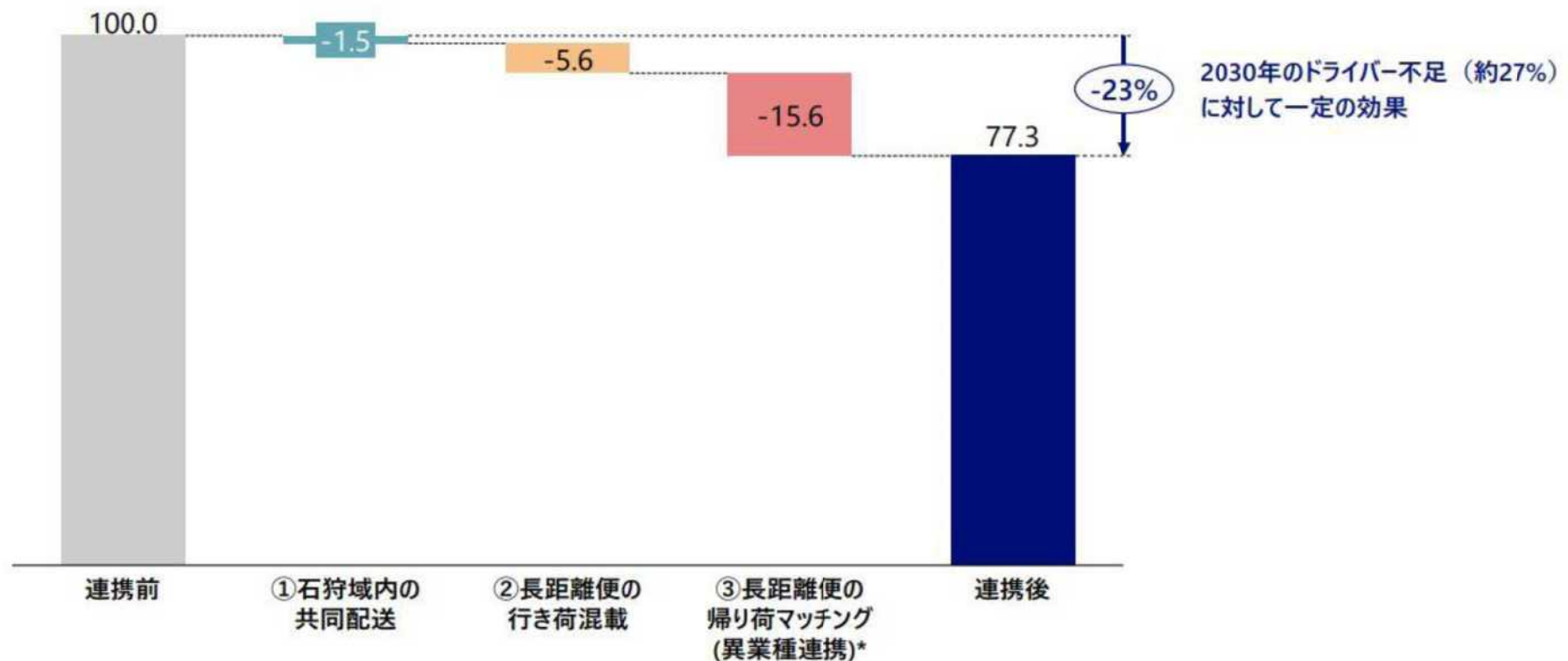
参加費無料

無償事業期間 2025年8月26日～2026年1月30日

連携効果の試算

ドライバー不足に対して最もインパクトが大きいのは、「長距離便の帰り荷マッチング」

小売大手4社の北海道における総走行距離と連携効果（現状を100とした時のシミュレーション結果）



* 帰り荷の空車・未積載分のうち、札幌からその他地域に向かう軽工業品・雑工業品の貨物量に対する、その他地域から札幌に向かう農水産品の貨物量の割合だけ帰り荷が確保できると仮定

出所) イオン北海道、北雄ラッキー、トライアル、西友の配送データをもとにNRI推計

異業種連携の可能性と課題

一方で、実際には「相手探し」「ルール議論」の段階で頓挫していることがほとんど
それぞれの壁を乗り越えなければ、3割のモノが運べなくなる未来を避けられない

各社の輸送データを
集約したデータベース
が存在しない

乗り越えるには...
最低限の物流データを
共有する基盤整備が必要

乗り越えるには...
各プレイヤーが既存の商習慣を
崩す意思決定が必要

「他業種が何をどこにどう運んでいるか」見えず、どの
企業に話を持っていけばよいかわからない（小売）

ODや荷量、車格や時間帯など、最低限の情報が
わからないと、声もかけようがない（小売）

前段となる自社物流の可視化ができていないので、
どの区間の連携が効果的かわからない（農業）

相手探しの壁

同系列の小売店と議論した際には、店着時間と
集荷時間が折り合わず頓挫した（農業）

セール等の関係で荷量が日々変動するため合わせ
づらく、結局チャーター便を使っている（食品）

時間と車格が合わずに頓挫した。フェリーでの道外
移出のため、特に時間は譲れない（食品）

ルール議論の壁

異業種・複数企業間での共同輸送を活性化することを目的
物流企業・荷主が自社貨物の「積み地」「降ろし地」を登録（匿名化）
運行実績・頻度・車格等を可視化し共同輸送を希望する他企業を検索

「相手先探しにかかる手間」を大幅に削減するサービス



The screenshot displays the traevo noWa web application interface. On the left, the '検索条件設定' (Search Condition Setting) panel is visible, with several fields circled in red: '自社往路' (Self-company outgoing route), '自社復路' (Self-company return route), and '回送条件' (Return condition). The main area shows two maps: '発拠点候補' (Candidate origin points) and '着拠点候補' (Candidate destination points). The '発拠点候補' map shows a red dot at '苫小牧着' (Kosai-maki arrival) and a blue dot at '北見発' (Kitami departure). The '着拠点候補' map shows a red dot at '北見発' (Kitami departure) and a blue dot at '苫小牧着' (Kosai-maki arrival). Below the maps, a table titled 'マッチング候補' (Matching candidates) is shown, with a red circle around the first row. The table has columns for 'ユーザーID' (User ID), '共同輸送 発拠点' (Joint transport origin), '共同輸送 着拠点' (Joint transport destination), '往復回送距離' (Round-trip return distance), and '輸送実績' (Transportation record).

ユーザーID	共同輸送 発拠点	共同輸送 着拠点	往復回送距離	輸送実績
ユーザー10	市区町村 回送距離	市区町村 回送距離	合計	23/3 23/4 23/5 23/6 23/7 23/8
北海道センコー	北広島市 39km	北見市 0km	39km	872 77 74 75 78 74 74

自社輸送データを
アップロード



開発背景 – traevo noWaの歩み

2025.08.05
JILSロジスティクス大賞 受賞



JILS 日本ロジスティクスシステム協会
JAPAN INSTITUTE OF LOGISTICS SYSTEMS

traevo platform
実証実験



2022.10 ~ 2023.07
TDBC WG
「共同輸送DBデータ連携実証」
動態管理PF(traevo)から検索データ生成



2024.10 ~ 2025.07
TDBC WG
「サービスインに向けたシステム改修」
資源エネルギー庁補助事業採択



~2021

2022

2023

2024

2025

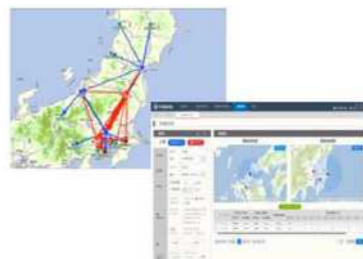
2022.01.07
株式会社traevo 設立



2022.09.01
traevo platform
正式サービス開始



2023.10 ~ 2024.07
TDBC WG
「輸送DBを活用した実共同輸送実証」
共同輸送DBを活用した異業種間の共同
輸送実証・効果検証



2025.08.01
traevo noWaサービスイン



2025.8.26
北海道経産局委託事業開始



2025年8月1日 サービスイン



traevo “の和”

業種、会社規模問わず、誰もが同じ
データを**公平、平等**に活用する事で
共同輸送の実現を目指す

traevo “の輪”

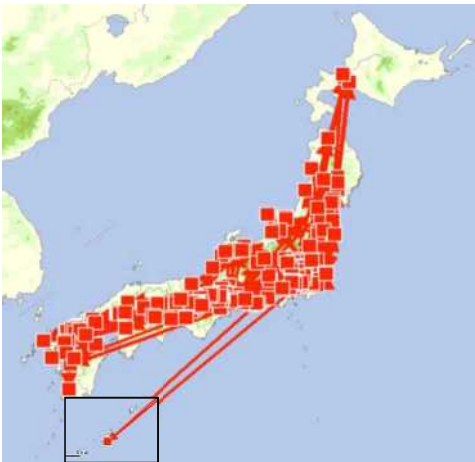
物流共通課題に対して各社が**繋がり、**
協調する事によって**持続可能**な物流
環境を構築する

「広範な社会インフラ」を目指し、物流全体最適に貢献

- ◆ 実証事業体 運輸デジタルビジネス協議会（TDBC）WG05A
- ◆ 実証期間 2024年1月1日～2024年7月31日（23年1月～23年12月データを使用）
- ◆ 実証実験参加企業
 鈴与カーゴネット、大王製紙、中部興産、トランコム、ヤンマーロジスティクス、AGC
- ◆ 登録ルート数 1257 （のべ285,000台）
- ◆ 共配検討数 30件
- ◆ 共配実現ルート数 8件

検討状況

ステータス	件数	共同輸送効果(max)	
		建台数 (台/年)	CO2排出量(t・ CO2/年)
検討前	120	7,745	0
検討中	6	79	0
開始	8	1,082	563
断念	16	724	0
計	150	9,630	563



デジタルマッチング実証報告 (2024年度)

appendix

2024年3月より各社にて検証開始、既に複数ルートでの共同輸送開始
引き続き個社間で対象ルート拡大を検討

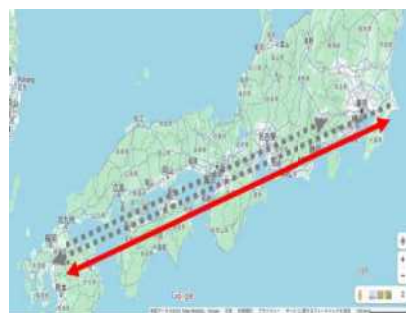
往復化①

ヤンマーロジスティクス&AGC

CO2削減 : 43%

拘束時間削減 : 44%

車種:平ボディ(フェリー)車格:19t



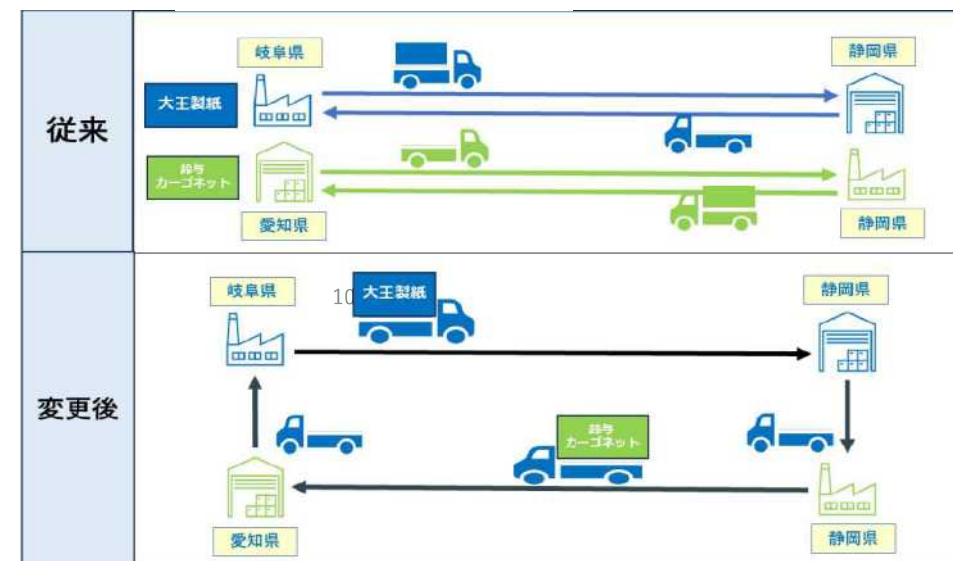
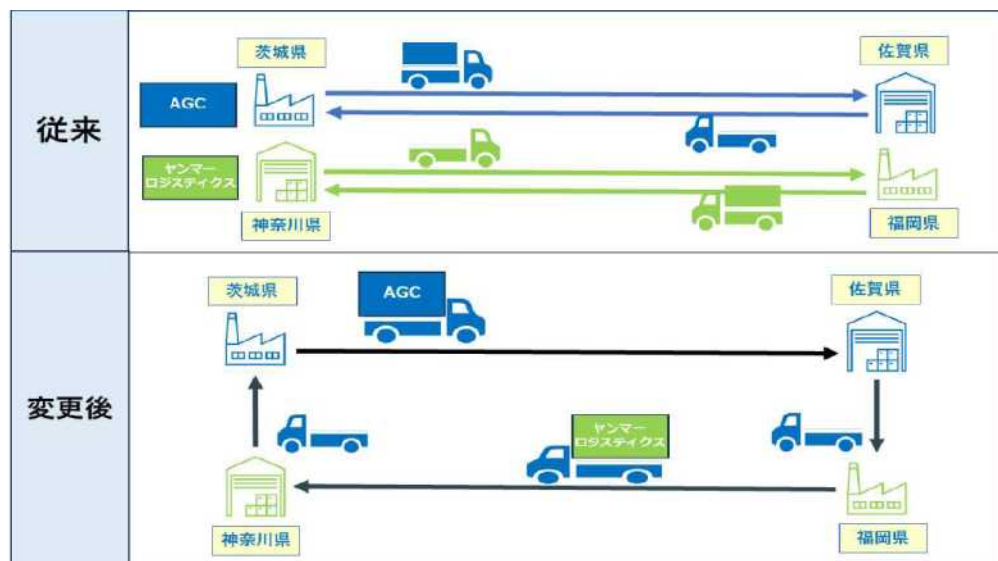
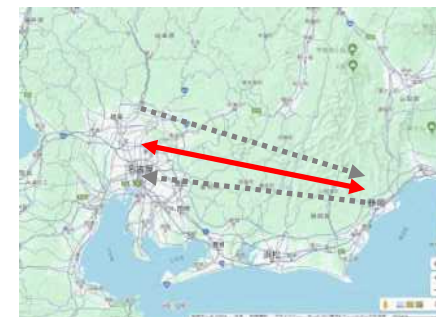
往復化②

大王製紙&鈴与カーゴネット

CO2削減 : 38%

拘束時間削減 : 36%

車種:ウイング 車格:10-25t



出典 TDBC Forum2024 WG05A発表資料

デジタルマッチング実証報告（2024年度）

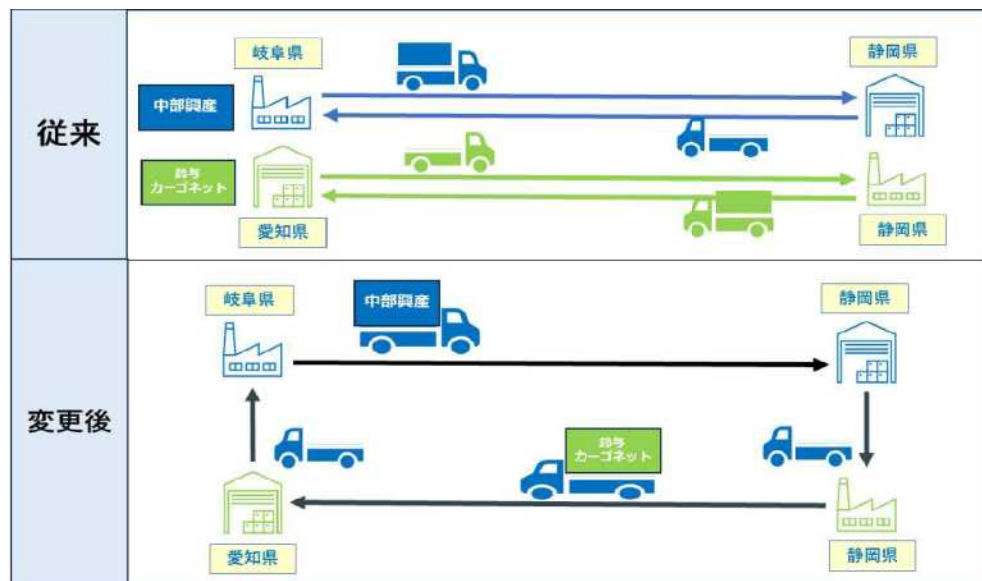
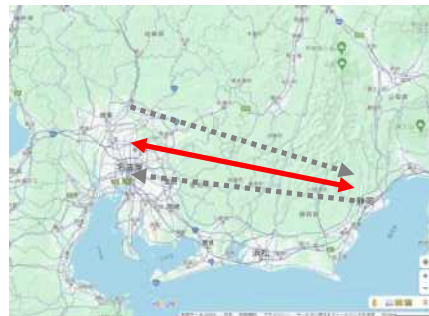
appendix

2024年3月より各社にて検証開始、既に複数ルートでの共同輸送開始
引き続き個社間で対象ルート拡大を検討

往復化③ 中部興産 & 鈴与カーゴネット

CO2削減 : 38%
拘束時間削減 : 30%

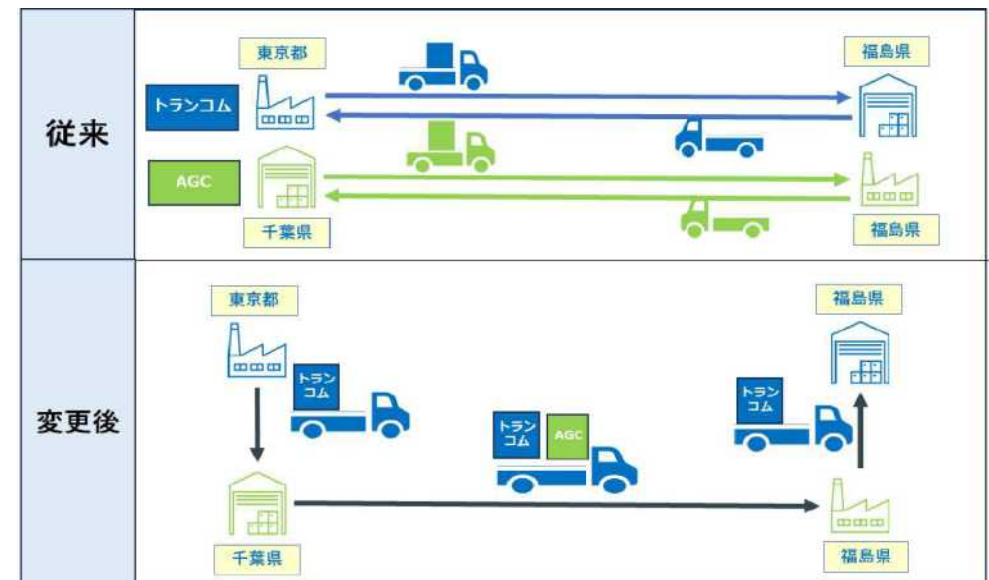
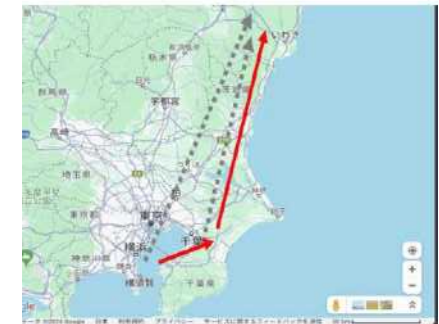
車種 : ウイング 車格 : 25t



混載 トランコム & AGC

CO2削減 : 36%
拘束時間削減 : 35%

車種 : ウイング 車格 : 4t



出典 TDBC Forum2024 WG05A発表資料

北海道共同輸配送デジタルマッチング事業（結果報告） appendix

- 経済産業省北海道経済産業局では、物流データの見える化による事業者マッチングを促進するため、関係機関と連携し、**全国で初となる共同輸配送デジタルマッチング事業を実施**する。
- 共同輸配送デジタルマッチングシステム上でのデジタルによる事業者マッチングを推進することにより、**北海道内におけるより一層の共同輸配送の促進を図る。**

共同輸配送デジタルマッチング事業の概要

○事業内容：

共同輸配送デジタルマッチングによる動向分析・効果検証

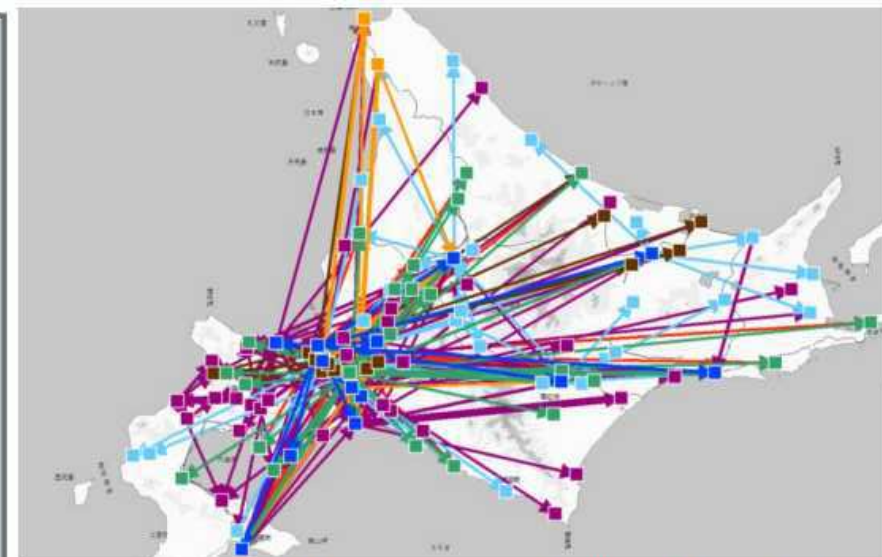
混載や帰り便の貨物手配などの共同輸配送に取り組む意向をもつ事業者を対象として、システム上で共同輸配送のデジタルマッチングを促すためのサービスを提供するとともに、北海道内における輸送情報の集約化・データ化を行う。

本事業を通じて得られた物流データ等を活用し、共同輸配送等の動向及びデジタルマッチングに関する効果検証を行う。

○**連携先**：農林水産省北海道農政事務所、国土交通省北海道開発局・北海道運輸局、北海道

○**事業期間**：2024年12月12日（木）～2025年1月31日（金）

○**事務局**：一般社団法人運輸デジタルビジネス協議会（TDBC）

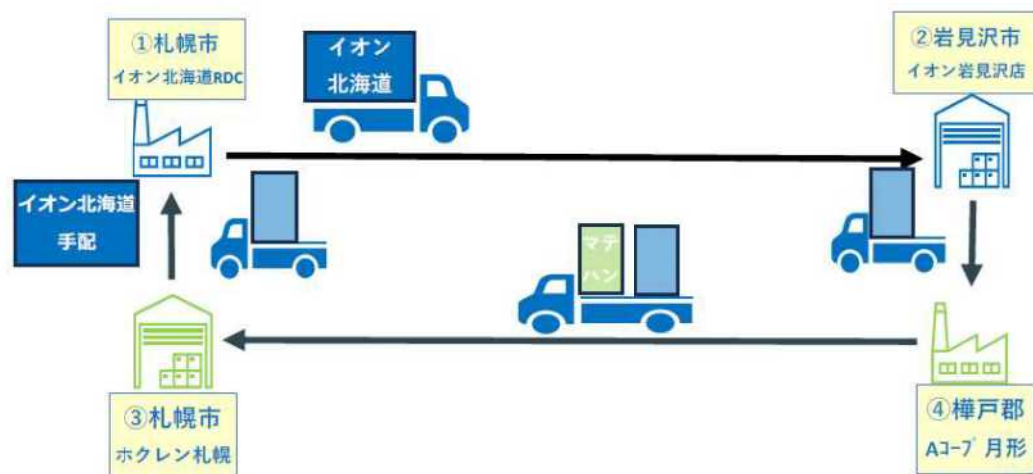


物流データを可視化することで、常時、共同輸配送に関心をもつ事業者同士のマッチングが可能となり、一層の共同輸配送の促進が期待できる

共同輸配送デジタルマッチング事業を活用した事例創出

- 本デジタルマッチング事業の効果検証のため、イオン北海道とホクレンにおいて実証事業を実施。
- ホクレンは、Aコープ月形での荷下ろし後、マテハンを積んで札幌まで戻る必要があったところ、イオン北海道がAコープ月形を経由しホクレンのマテハンを積んで札幌まで戻ることにより、効率化に寄与。

イオン北海道×ホクレンの実証事業による効率化イメージ



＜従前スキーム＞ ホクレンはAコープ月形で荷下ろし後、マテハンを回収して札幌まで戻り、イオン北海道はイオン岩見沢店で荷下ろし後、マテハンを回収して札幌まで戻っていた。

＜実証事業内容＞ イオン北海道がイオン岩見沢店で荷下ろし・マテハン回収後、Aコープ月形を経由・ホクレンのマテハンを回収して札幌まで戻することで、ホクレンはAコープ月形での荷下ろし後に別用務を行うことができるようになることにより、物流効率化に寄与。

イオン北海道（センコー）のトラックに
ホクレンのマテハンが回収されている様子



traevo noWa 概要 - データ登録状況(10/7時点)

2025年8月 traevo noWa サービスイン以降

輸送建台数：約680,000台 輸送ルート数：約10,000件のデータ登録済

① 発着地区別 輸送建台数(台/年)

合計 / 総数 着地区									
発地区	北海道	東北	関東	北信越	中部	近畿	中四国	九州/沖縄	総計
北海道	14,953		115		215	76		1	15,360
東北	678	4,841	29,372	5,941	3,331	819	70	22	45,074
関東	2,242	20,843	56,025	7,069	52,567	19,179	2,648	5,297	165,870
北信越	30	1,077	6,528	1,930	8,409	3,431	1,319	1,303	24,027
中部	863	2,298	53,556	15,062	87,977	27,650	2,666	10,777	200,849
近畿	668	1,381	19,648	18,712	15,611	45,132	44,431	3,974	149,557
中四国	176	869	4,167	1,386	8,579	17,708	7,408	6,744	47,037
九州/沖縄	485	738	6,827	681	6,018	2,812	4,016	14,946	36,523
総計	20,095	32,047	176,238	50,781	182,707	116,807	62,558	43,064	684,297

② 発着地区別 輸送ルート数(件/年)

個数 / 総数 着地区									
発地区	北海道	東北	関東	北信越	中部	近畿	中四国	九州/沖縄	総計
北海道	42		2		11	3		1	59
東北	5	27	130	29	69	9	1	2	272
関東	16	83	560	113	1,439	458	33	102	2,804
北信越	3	27	226	95	220	136	23	21	751
中部	45	99	1,895	247	1,379	685	77	164	4,591
近畿	4	15	568	55	404	247	53	22	1,368
中四国	2	8	67	18	54	65	38	41	293
九州/沖縄	4	6	95	14	62	20	43	152	396
総計	121	265	3,543	571	3,638	1,623	268	505	10,534

traevo noWa 概要 - 料金体系（2026年2月以降）

TDBC会員・traevoユーザーは**無償**、その他ユーザーも年間30,000円の利用料のみで**全機能**を利用可能。データは年度更新

TDBC会員・traevo Platformユーザー

利用料 **0 円**
(1アカウント当たり3ID)

その他費用 **0 円**

✓ アップロードによる輸送データの登録・更新

✓ 自社データを元にした共同輸送相手探索

✓ 共同輸送相手との簡易コミュニケーション

✓ 自社輸送データの簡易分析

一般ユーザー

利用料 **30,000 円/年**
(1アカウント当たり3ID)

その他費用 **0 円**

✓ アップロードによる輸送データの登録・更新

✓ 自社データを元にした共同輸送相手探索

✓ 共同輸送相手との簡易コミュニケーション

✓ 自社輸送データの簡易分析